

系統用蓄電所で国内初 大子町避難所向け非常用電源(BCP)実証運転式の実施

1. 概要

株式会社クリハラント（本社：大阪府／代表取締役社長：鹿谷和久）は、このたび系統用蓄電所として国内で初めて、自治体避難所を対象とした非常用電源（BCP）運転の実証運転式を、「だいご蓄電所」（茨城県大子町）にて実施いたしました。

本実証運転式は、2026年1月の操業に先立ち、建設にご協力いただいた関係者の方々をお招きし、開所式に併せて執り行われたものです。本取り組みは、大子町が掲げる「災害レジリエンス強化」に貢献するもので、蓄電所の自立運転機能を活用し、停電時に基幹避難所（大子町営研修センター）への電力供給を目的としています。

当社は2013年より再生可能エネルギー発電事業を展開しており、2024年12月に操業した千葉君津蓄電所を含め、全国10地点・総出力20MWの再エネ電源を運営しております。このたび令和6年度経済産業省補助事業として採択された「だいご蓄電所」の工事が完了し、同じく採択された「淡路島蓄電所」の着工も控えております。当社は、これらの事業を通じて、より一層地域防災および新たなグリーン市場創出に貢献し、地域とともに持続可能なエネルギー社会の実現を目指してまいります。

2. 蓄電所の概要

名称) だいご蓄電所 （茨城県久慈郡大子町北田気662)

出力) 1,999kW (容量 8,226kWh : (2,742kWh/基 x 3基))

製造) 蓄電池:パワーエックス 電力変換機(PCS):富士電機(株)

操業) 2026年1月

位置)



参考：だいご蓄電所 鳥観



参考 2：運転式

(中央左 高梨大子町長、左から 2 人目 大森大子町議会議長、左端 富士電機(株)前田関西支社長、右端 (株)パワーエックス松本部長、中央右 (株)クリハラント嶋田会長、右から 2 人目 鹿谷社長)

